

科目名称	コミュニケーション技術	学年学期	単位数	時間数
		第1学年 前期	1	30
担当教員	藤原 恵子	授業に関わる 実務経験	☒ 有（看護師） ☐ 無	

【1】授業概要

対人関係の形成は看護の基礎である。学生のコミュニケーション能力を強化し、看護の対象やチームメンバーとのよりよい対人関係を形成するための基礎的技術を習得する。

【2】学習目標

1. 自己や他者のコミュニケーション・パターンに気づくことができる。
2. 非言語的コミュニケーションを理解し、活用することができる。
3. 傾聴の技術の基礎を知り、活用できる。
4. 日常や看護場面での適切な自己表現を習得する。
5. カウンセリングの基礎的な技術を習得できる。

【3】第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- ☐ 1. 生活者としての人間の理解
- ☒ 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
- ☒ 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
- ☐ 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
- ☒ 5. 多職種との連携・協働
- ☐ 6. 地域医療の理解と生活の支援
- ☒ 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	コミュニケーションの基礎的知識	講義
2	アサーティブコミュニケーション	講義
3		
4	カウンセリングの基礎 ①傾聴の技法	講義
5	カウンセリングの基礎 ②共感 ③応答の技法	講義
6		
7	集団におけるコミュニケーション方法 ①ほうれんそう ②カンファレンス	演習
8		
9	プロセスレコード	演習
10		
11	ベッドサイドにおけるコミュニケーション技術(患者さん編)	演習
12		
13	ベッドサイドにおけるコミュニケーション技術(実習指導者への報告・連絡・相談編)	演習
14		
15	試験・まとめ	

【5】評価方法

1. リフレクションシート 30%
2. グループワークにおける成果物・他者評価 20%
3. 筆記試験 50%

【6】教科書

系統看護学講座 専門1 基礎看護技術 I 医学書院 2020 年 第17版

【7】参考書

授業で随時提示する。

【8】受講生へのメッセージ

看護師として相手を知るためには、相手に関心をもって共感できる能力が必要です。コミュニケーションを看護の実践に必要なツールとして、どのような場面でどのように使えば良いかを理解し、技術の習得をめざします。そのために、自分の体験を振り返りながら、自分のコミュニケーションの傾向を深く見つめる学習をおこないます。最終的に日々の生活や臨地実習において活用できるようになることをめざします。